「持続可能な社会の創り手」を育む！

福山市立福山中・高等学校　ESD（SDGs教育）要点マップ（ホールスクールアプローチ実践校）

1 学校概要

❶公立の中高一貫校（広島県福山市赤坂町赤坂910）
❷生徒：中高約1000名（中学：360名／高校：600名）
❸教育理念・・・ESD（持続可能な開発のための教育）を通じて，生徒一人一人が持つ潜在的な独創性を引き出し，溢れる知性とチャレンジ精神をエネルギーに，持続可能な社会を創造するために，グローカルに活躍する人間を育成する。

❹教育目標
旺盛な「探究心」，豊かな「創造力」，柔軟な「思考力」を育み，「課題の解決」に向け「粘り強く挑戦」する生徒を育成する。
❺ESDの観点で教育内容づくり
●2016～ サステイナブルスクール ▶ by ACCU（文科省委託）24 校
●2018～ ユネスコスクール ▶by UNESCO 世界11,000校
●2019～ ハッピースクール ▶by UNESCO（バンコク）日本（5校）・タイ・ラオス
●2019 ESD大賞（文部科学大臣賞）受賞
●2020～ WWL連携校 ▶by文科省（広島大学附属福山校が中心校）
●2021 文科省「持続可能な開発のための教育(ESD)推進の手引」本校事例掲載

2 本校ESD実践の特徴・概要

❶ホールスクールアプローチ
（➡学校全体の取組: ESDと国際交流を学校の特色に）
❷無理なく過度の負担なく実践
（取組も無理なく持続的なものに）
❸3Pjで「資質・能力」向上
（地域課題解決・国際課題解決・在り方生き方探究Project）

▶【結論】 ESD実践により・・・
❶「持続可能な社会づくり」❷「生徒の資質・能力の向上」❸「学校の教育の質の向上」に。

3 学校全体で「特に育成したい6つの資質・能力」

❶創造力 ❷思考力 ❸コミュニケーション力
❹探究心 ❺協働 ❻チャレンジ精神
＊年3回（学期1回）測定 ＊学校評価にESD関連事項（年2回評価）

4 外部機関・地域との連携

❶市役所（産業振興課），商工会
❷福山市立大学 都市経営学部
❸地元企業（オンリーワン・ナンバーワン企業含む）
❹アジア・ユネスコ文化センター（ACCU）
❺ユネスコ（ハッピースクールプロジェクト）
❻文科省（『ESD推進の手引き』『事例集』）
❼市教委・県教委
❽コーディネーター・外部講師

5 なぜESD？（理念や必要性，導入の経緯）

（1）学習指導要領の趣旨（社会に開かれた教育課程）
❶教育で大切なのは，「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創ること」
❷学校教育の理念は，「持続可能な社会の創り手」の育成（=ESD）
＊学習指導要領の前文・総則 ＊SDGsターゲット4.7「持続可能な開発のための教育」
＊末松文科大臣「『持続可能な社会の創り手』の育成を行うESDは世界の標準となっていく教育」(2021.11.27)
❸その3方策
①「よりよい学校教育を通じてよりよい社会を創る」（目標）を学校と社会で共有する
②学校と社会で新しい時代を担う生徒に必要な資質・能力を明確にする
（知識・技能 ／思考力・判断力・表現力 ／主体性・多様性・協働性 等）
③学校教育を学校内に閉じずに，地域や社会の方と連携・協働して目標を実現する
（2）本校（中高一貫校）の開校以来の教育の方向性（数値目標➡資質・能力へ）
（福山100NEN教育）：ESD2観点（人間性，つながりを尊重）・21世紀型スキルと倫理観

6 ホールスクールアプローチで取組開始（10ステップ）

❶目指す姿は？（どんな姿・ビジョンを目指すか）
❷本校で育てたい力は？（具体的な資質・能力の検討）
❸取組をどう構造化？（共通目的は持続可能な社会づくり）
❹評価はどうする？（ルーブリック作成，測定頻度の検討）
❺実践のまとめは？（取組の持続性や共有に不可欠）
❻3プロジェクトの実践（各プロジェクトの実践）
❼学校ビジョン・学校評価にESDを反映（取組が持続的に）
❽保護者にも周知（PTA総会，学校からの便り等で）
❾授業とESDの関係（ESDカレンダー，カリキュラムマップ）
❿教科でのESD実践 （探究，特活だけでなく各教科でも）

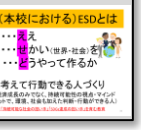
7 探究内でのESD

（1）地域課題解決プロジェクト
❶職場体験学習（2年）
❷地元企業探究（4年）
（2）国際課題解決プロジェクト
❸姉妹校との国際交流（全学年有志）
❹海外修学旅行での地元高校とのSDGsディスカッション（5年）
（3）在り方生き方探究プロジェクト
❺My探究（1～3年） ❻夢プロ（5年） ❼課題研究（6年）

「調べ学習」「解決策の提案」で終わらず「実行」まで

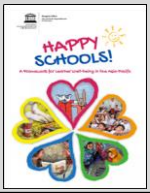
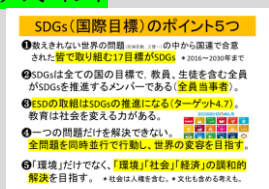
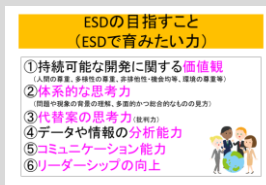
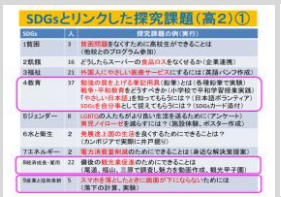
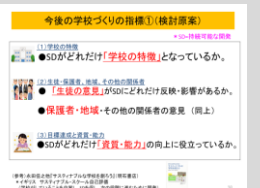
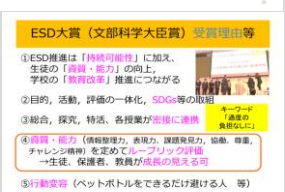
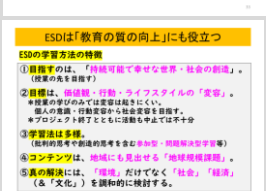
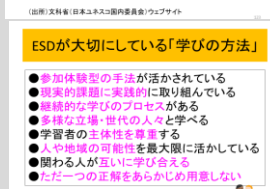
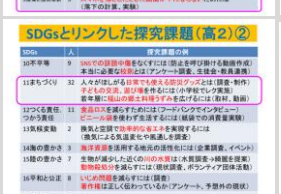
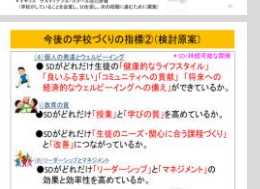
8 教科・探究・特別活動・部活動・会話等でのESD

「目的（SD）・内容（SDGs）・資質・能力・学習法」を各所で実践
＊理解➡自分事化（自分も関わる課題でもある）➡行動➡変容
●目的➡「持続可能な社会の創り手」育成
●内容➡内容とSDGsの関連付け
（ゴールを参照すると具体的に）
●資質・能力➡批判的（代替案の）思考力，
分析能力，コミュ，リーダーシップ
課題発見・解決力等
●学習法➡参加体験型，現実的課題に実践的に，
多様な人と協働，唯一正解がない問い



9 Happy Schools Project（ユネスコ・バンコク主催）

❶幸福は世界の政策議題のトップ（国際幸福デー，国民総幸福量）
❷校内外のUnhappyな要素を減らし，Happyな要素を増やす取組
→SDG4（教育の質の向上）と関連：生徒・教員の幸福向上につながる
❸取組：120周年合唱Pj，生徒とスマホルール作り，癒しのひつじ「もふお」
他にも「人間関係」「前向きな態度」「協働」「自由」「創造性」「友好的」「自然」等



10 SDGs・ESD実践のためのポイント